

始



大正二年

夏期休暇

數學複習帖

夏之友

第五年級用

京都帝國大學理工科大學助手

森谷精一編



持116
900

代 数

本帳ニ公式シテ使用シタル式

乗法ノ公式

因数分解ノ公式

(1) $(A+B)^2 = A^2 + 2AB + B^2$ (1)

(2) $(A-B)^2 = A^2 - 2AB + B^2$ (2)

(3) $(A+B)(A+B) = A^2 + B^2$ (3)

(4) $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ (4)

(5) $(ax+b)(cx+d) = acx^2 + (ad+bc)x + bd$ (5)

(6) $(A+B)(A^2 - AB + B^2) = A^3 + B^3$ (6)

(7) $(A-B)(A^2 + AB + B^2) = A^3 - B^3$ (7)

(8) $(A+B)^3 = A^3 + 3A^2B + 3AB^2 + B^3$ (8)

(9) $(A-B)^3 = A^3 - 3A^2B + 3AB^2 - B^3$ (9)

$x^2 + px + q = 0$ ノ二根 = $-\frac{p}{2} \pm \sqrt{\frac{p^2}{4} - q}$

$ax^2 + bx + c = 0$ ノ二根 = $-\frac{b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$

 $x^2 + px + q = 0$ ノ二根ト係數トノ關係

$\alpha + \beta = -p$ $\alpha \beta = q$

 $ax^2 + bx + c = 0$ ノ二根ト係數トノ關係

$\alpha + \beta = -\frac{b}{a}$; $\alpha \beta = +\frac{c}{a}$

本帖ハ中學生ニ夏期休暇ヲ利用シテ、既修數學ノ復習ヲ勧メンガ爲メニ編纂シタルモノナリ。本帖ハ各年級用ヲ區別シテ五種類トナシ、毎冊當該年級ニ於テ修得シツ、アル數學ノミヲ取り問題選擇ノ範圍ヲ文部省規定ノ要目ニ從ヒテ定メタリ。故ニ此ノ復習帖ヲ用ユルモノハ、日々多ク勞セズシテ不知ノ間ニ既修ノ範圍ヲ復習スペシ。其解シ得ザルモノ、爲メ、問題解答ノ順序又ハ結果ヲ示シテ、休暇中教師ナキ地ニ於テ不審ヲ説クニ便ゼリ。

本帖ハ公務ノ餘暇ヲ利用シテ編纂セルヲ以テ、誤謬ノ點少ナカラザルベシ、使用者ニ於テ氣付カレタル所ハ注意ヲ與ヘラルレバ幸甚。

本帖ノ編纂ニ使用シタル時間甚ダ僅少ナリ、到底豫定ノ時日ニ終了セザルベキヲ慮リ、幾何ニ關シテハ全部、同僚中島篤行氏ニ依頼セリ。氏ハ斯學ニ精通ノ人、之レニ依テ本帖ニ光彩ヲ加ヘシハ厚ク氏ニ感謝スル所ナリ。茲ニ附記シテ敬意ヲ表ス

大正二年七月二日

著 者 識 ス

大正
2.8.5
内文

三角法公式

I. 測角法

$$1 \text{ 直角} = 90^\circ \quad 1^\circ = 60' \quad 1' = 60''$$

II. 三角函数ノ定義

$$\sin A = \text{垂邊} : \text{斜邊}$$

$$\cos A = \text{底邊} : \text{斜邊}$$

$$\tan A = \text{垂邊} : \text{底邊}$$

$$\cosec A = \text{斜邊} : \text{垂邊}$$

$$\sec A = \text{斜邊} : \text{底邊}$$

$$\cot A = \text{底邊} : \text{垂邊}$$

III. 三角函数ノ關係

$$(1) \sin A \cdot \cosec A = 1$$

$$(2) \cos A \cdot \sec A = 1$$

$$(3) \tan A \cdot \cot A = 1$$

$$(4) \tan A = \frac{\sin A}{\cos A}$$

$$(5) \cot A = \frac{\cos A}{\sin A}$$

$$(6) \sin^2 A + \cos^2 A = 1$$

$$(7) 1 + \tan^2 A = \sec^2 A$$

$$(8) 1 + \cot^2 A = \cosec^2 A$$

$$\begin{array}{l} \left. \begin{array}{l} \sin A = \frac{1}{\cosec A}, \\ \cos A = \frac{1}{\sec A}, \\ \tan A = \frac{1}{\cot A}, \end{array} \right\} \\ \left. \begin{array}{l} \cosec A = \frac{1}{\sin A}, \\ \sec A = \frac{1}{\cos A}, \\ \cot A = \frac{1}{\tan A} \end{array} \right\} \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \left. \begin{array}{l} \sin^2 A = 1 - \cos^2 A \\ \tan^2 A = \sec^2 A - 1 \\ \cot^2 A = \cosec^2 A - 1 \end{array} \right\} \\ \left. \begin{array}{l} \cos^2 A = 1 - \sin^2 A \\ \sec^2 A - \tan^2 A = 1 \\ \cosec^2 A - \cot^2 A = 1 \end{array} \right\} \end{array}$$

IV. 餘角ノ三角函数

$$\sin(90^\circ - A) = \cos A$$

$$\cos(90^\circ - A) = \sin A$$

$$\tan(90^\circ - A) = \cot A$$

V. 補角ノ三角函数

$$\sin(180^\circ - A) = \sin A$$

$$\cos(180^\circ - A) = -\cos A$$

$$\tan(180^\circ - A) = -\tan A$$

VI. 負角ノ三角函数

$$\sin(-A) = -\sin A$$

$$\cos(-A) = \cos A$$

$$\tan(-A) = -\tan A$$

VII. 90° ノ差ヲモツ二角ノ三角函数

$$\sin(90^\circ + A) = \cos A$$

$$\cos(90^\circ + A) = -\sin A$$

$$\tan(90^\circ + A) = -\cot A$$

VIII. 180° ノ差ヲモツ二角ノ三角函数

$$\sin(180^\circ + A) = -\sin A$$

$$\cos(180^\circ + A) = -\cos A$$

$$\tan(180^\circ + A) = \tan A$$

IX. 和ガ 270° ナル二角ノ三角函数

$$\sin(270^\circ - A) = -\cos A$$

$$\cos(270^\circ - A) = -\sin A$$

$$\tan(270^\circ - A) = \cot A$$

X. 270° ノ差ヲモツ二角ノ三角函数

$$\sin(270^\circ + A) = -\cos A$$

$$\cos(270^\circ + A) = \sin A$$

$$\tan(270^\circ + A) = -\cot A$$

XI. 和ガ 360° ナル二角ノ三角函数

$$\sin(360^\circ - A) = -\sin A$$

$$\cos(360^\circ - A) = \cos A$$

$$\tan(360^\circ - A) = -\tan A$$

XII. 360° ノ差ヲモツ二角ノ三角函数

$$\sin(360^\circ + A) = \sin A$$

$$\cos(360^\circ + A) = \cos A$$

$$\tan(360^\circ + A) = \tan A$$

一 目

1). 測角ノ六十分法ヲ説明シ之レニ使用スル記號ヲ用ヒテ三十八度二十六分十八秒ヲ記セ。

2). 直角ノ四分ノ一ヲ度分秒ニテ示セ。

3). $163^\circ 25' 30''$ ノ直角ヲ単位トシテ表ハセ。

注意 : $1^\circ = 60'$; $1' = 60''$

- 1). 乗法、除法及び分數ノ符號ノ法則ヲ記セヨ。

注意 :— 記憶ノマヽチ書キ後ニ教科書ヲ熟讀シテ訂正スペシ。

- 2). $2x^2 + 8xy + 3y^2 = \frac{3}{2}x^2 - 4xy + \frac{1}{2}y^2$ ノ加ヘ其ノ結果ヨリ $\frac{5}{2}x^2 - \frac{9}{2}xy - y^2$ ノ引ケ

注意 :— 教科書ニ就キ多項式ノ加法及ビ減法ノ法則ヲ熟讀シテ後運算スルヲ可トス。

- 定理 1. 対頂角ハ皆相等シ。

- 問題 1. 二双ノ對頂角ノ二等分線ハ互ニ直角ナリ。

- ,, 2. 錯角・同位角トハ如何。

- ,, 3. 錯角及同位角ニ關スル定理ヲ書ケ。

二　　日

1). 二桁ノ數アリ10ノ位ノ數字ハ a ニシテ一ノ位ノ數字ハ b ナリ此ノ數ヲ示ス式ヲ作レ、

注意：- 數字トハ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 ナリ從ツテ a 及ビ b ハ各之等ノ數字ノ何レカーブナ代
表ス。

2). $(3x^2 + x - 2) = (5x^2 - x + 2)$ ヲ掛ケ其ノ結果ヲ $(3x - 2)$ ニテ割レ、

注意：- 多項式ト多項式トノ乗除法ヲ教科書ニ就キテ熟讀スルヲ可トス。

二　　日

問題 4. ニツノ角ノ二邊ガ夫々平行ナル時ハ此ノ二角ハ相等シキカ或ハ補角ナリ、

定理 2. 三角形ノ内角ノ和ハ二直角=等シ、

問題 5. 三角形ノ外角ハ之レニ隣ラキル内角ノ和=等シ、

〃 6. 三角形 ABC 於テ $\hat{A} - \hat{B} = \hat{B} - \hat{C} = 30^\circ$ ナルトキ各角ノ大サヲ求ム、

二　　日

- 1). 何ヲ呼ンデ角ノ三角函數ト云フヤ。
- 2). 三角函數ハ唯其角ノ大サノミニ關シ邊ノ長短ニ關係ナシ今一銳角 θ 與ヘテ之レヲ說明セヨ。

注意 :— 幾何學ニ於テ論ズル相似形ノ性質ト如何ナル關係アルカナ考フベシ。

三　　日

問題 7. 二ツノ三角形ガ次ノ三部分ヲ等シクスルトキハ合同ナルコトヲ證明セヨ。

- I. 二邊ト其夾角
- II. 二角ト其ノ間ノ邊
- III. 三邊

注意 :— 本問題ハ三角形ニ就テ最モ大切ナル定理ナリ。

8. 上ノ問題ニ就テ合同セルコトヲ知レバ上ノ三ツノ場合ニ就テ如何ナルコトヲ知ルカ。

三　　日

- 1). 直角三角形ノ斜邊ノ長サ 50 尺ニシテ直角ヲ挾ム一邊ノ長サ 30 尺ナリ各銳角ノ凡テノ三角函數ヲ求メヨ。
- 2). A ハ直角三角形 ABC ノ一銳角ナリ $\sin^2 A + \cos^2 A = 1$ 及ビ $1 + \tan^2 A = \sec^2 A$ ヲ證セヨ。

三　　日

- 1). 次ノ公式ノ右邊ヲ書ケ。

$$\begin{array}{ll} (A+B)^2 = & (x+a)(x+b) = \\ (A-B)^2 = & (x+a)(x-b) = \\ (A+B)(A-B) = & (A+B)(A^2 - AB + B^2) = \\ (A-B)(A^2 + AB + B^2) = & \end{array}$$

注意：— 此ノ公式ハ記憶ヲクスルヲ要ス。書き得ザルモノハ教科書ヲ熟讀セラル、ヲ要ス。

四　　日

問題 9 Dハ三角形ABCノ邊BCノ中點ニシテ ADB ガ鈍角ナリトセバ邊ABハ邊ACヨリ大ナリ。

" 10. n邊正多角形ノ一角ハ $(2 - \frac{4}{n})$ 直角ニ等シ。

" 11. 平行四邊形ノ對角線ハ互に二等分ス。

四　　日

1). 直角三角形ノ直角傍ノ二邊がm及ビnナルトキmト斜邊トノナス角ノ三角函數ヲ求メヨ。

注意:- 直角三角形ノ斜邊ノ上ノ正方形ハ他ノ二邊ノ上ノ正方形ノ和ニ等シ(幾何)

2). $\sec^2 A \cosec^2 A - (\tan^2 A + \cot^2 A) = 2$ ヲ證セヨ。

四 日

- 1). 方程式ノ兩邊ノ符號ヲ同時ニ變ズルモ差支ナシト云フ其ノ理如何.
- 2). $x^2 + 4x = x - 6$ ナル方程式ニ於テ右邊ノ $x - 6$ ノ方程式ノ左邊ニ移サントス其方法如何.

注意：— 方程式ノ性質ニツキ熟考スペシ。

五 日

- 1). $\sin A = \frac{1}{2}$ 與ヘテ他ノ凡テノ三角函數ヲ求ム.
- 2). $\sin A(1 + \tan A) + \cos A(1 + \cot A) = \sec A + \csc A$ ノ證セヨ。 (42年 盛岡高等農林學校)

五　日

1). $(a+b)x^2 + ab(x-a) = ax(x+b) + bx(x+a)$ ノ解ケ.

注意: 一見複雑ナルカ如キモ其ノ實甚簡單ナル一次方程式ナリ. 代數問題ノ多クハ直ク複雑ナルガ
如ク見ユルモ順序ヲ追フテ運算スレバ餘り難問題ハ多キモノニアズ.

2). $3x + 2y = 12 \quad (a)$

$4x - y = 5 \quad (b)$

ナル聯立方程式アリ之レヲ三ツノ方法即テ加減法, 代入法, 及ビ比較法ニテ解キ其結果ヲ比較セヨ.

注意: 教科書ニツキ聯立方程式ノ解キ方ヲ研究スベシ.

五　日

問題 12. 三角形ノ二邊ノ中迄ヲ結ビ付クル直線ハ底ニ平行ニシテ且ツ半ニ等シ.

“ 13. 二等邊三角形ノ底ノ上ノ一點ヨリ他ノ二邊ヘ下セル二ツノ垂線ノ和ハ不易ナリ.

“ 14. 直線 MN の同側ニ在ル二點 A,B. ヨリ此ノ線上ノ點 C = 至ル距離ノ和が最小ナルハ $\hat{ACM} = \hat{BCN}$ ナルトキナリ.

“ 15. 三角形ノ二ツノ中線ハ各ノ三分ノ二ノ點ニ於テ交ハル.

六　　日

- 1). 次ノ不等式ヲ解ケ.

$$5x - 7 < 2x + 5$$

注意:- 本稿ニ掲タル不等式ニ關スル問題ハ甚少ナルチ以テ教科書ニツキ不等式ノ性質及ビ其ノ解法ヲ熟讀セラレタシ。

- 2). 二十年前ニハ 125 圓ニテ出來上リタリ建築物ガ材料ハ七割五分貨錢ハ二倍ニ騰貴シタル爲メ現時ニテハ 230 圓ヲ要スト云フ此ノ建築物ノ價及ビ貨錢ハ現時幾何ナルカ。

六　　日

定理 3. 圓周角ハ同ジ弧ノ上ニ立ツ中心角ノ半ニ等シ。

問題 16. 一ツノ圓内ノ點 E ニ於テ交ハル二ツノ弦 AB, CD. ガナス角 \hat{AEC} ハ弧 AC 及ビ BD ノ上ニ立ツ中心角ノ和ノ半ニ等シ。

定理 4. 半徑ノ端ニ於テ之レニ直交スル直線ハ此ノ圓ノ切線ナリ。

問題 17. Oヲ中心トスル圓周ノ一點 A ニ於ケル切線ト任意ノ半徑 OB の延長トノ交點 O トシ OB ニ垂線 AD ヲ引キタルトキハ AB ハ \hat{DAC} ヲ二等分ス。

六　　日

1) $\frac{d}{d\theta} \tan \theta = \sec^2 \theta$ 有スル角の作用セヨ。

$$2). \quad \frac{1+\sin \theta - \cos \theta}{1+\sin \theta + \cos \theta} + \frac{1+\sin \theta + \cos \theta}{1+\sin \theta - \cos \theta} = 2\csc \theta \text{ フ證セヨ。}$$

(42年 第七高等学校)
(44年 新潟醫學専門學校)

七　　日

定理 5. 切線ト其切點ヲ過ぐる弦トノ間ノ角(BAT)ハ此角内ノ弧ノ上ニ立ツ内接角
(AOB)ニ等シ。

問題 18. 圓外ノ二ツノ點ヨリ之レヘニツノ切線ヲ引クコトヲ得而シテ只ニツナリ。
ニツノ圓ガ相切スレバ切點ヲ過ぐる任意ノニツノ直線ガ其ニツノ圓周ヨリ截リ取ル
所ノ弧ノ弦ハ平行ナリ。

七 日

- 1). 錐體アリ底面ハ一邊ノ長サ2尺ナル正方形ニシテ斜稜ハ何レモ三尺ナルトキ各斜面ガ底面トナス角ノ正弦・餘弦及ビ正切ヲ求メヨ.
- 2). $\cos^2 x - \sin^2 y = \cos^2 y - \sin^2 x$ ヲ證セヨ.

七 日

- 1.) 次ノ式ヲ因數ニ分解セヨ.

$$\text{I. } 64x^4y^6 + 160x^4y^3z + 100x^4z^2$$

(45年東京帝國大學農科大學資料)

$$\text{II. } (a-2b)a^3 - (b-2a)b^3$$

(45年海軍兵學校)

- 2). 次ノ聯立方程式ヲ解ケ.

(43年長崎高等商業學校)

$$\frac{x}{a} = \frac{y}{b} = \frac{z}{c}$$

$$ax + by + cz = s$$

- 問題 20. 角ノ二邊ヨリ相等シキ距離ニアル點ノ軌跡ヲ求ム。
 „ 21. 底邊及頂角ガ一定ナル三角形ノ頂點ノ軌跡ヲ求ム。
 „ 22. 定點ヨリ定圓ノ圓周上ニ至ル線分ノ中點ノ軌跡ヲ求ム。
 „ 23. 定點ヲ通過スル弦ノ中點ノ軌跡ヲ求ム。

- 1). 或ル角ノ三角函數ト其ノ角ノ餘角ノ三角函數トノ間ニバ如何ナル關係アリヤ
 2). 次ノ方程式ヨリ A の値ヲ求メヨ。但シ A ハ正ノ銳角トス。
 I. $\sin 4A = \cos 5A$
 II. $\tan A = \cot 2A$
 III. $4 \sin A = \cosec A$

八 日

- 1). 因数分解法ヲ應用シテ次ノ式ノ最大公約数ヲ求メヨ.

$$x^2 - y^2 ; \quad x^2 - 2xy + y^2 ; \quad x^3 - y^3$$

- 2). 約分及通分ナル言葉ヲ説明セヨ.

- 3). 次ノ分數ヲ簡単ニセヨ.

(44年海軍機関學校)

$$\frac{a + \frac{1}{b + \frac{1}{c}}}{c + \frac{1}{b + \frac{1}{a}}} - \frac{a}{c + \frac{1}{b}}$$

九 日

- 1). $\cos^2 A + \sin A - \frac{1}{4} = 0$ ヨリ A の値ヲ見出セ.

- 2). $\sec(90^\circ - A) - \cot A \cos(90^\circ - A) \tan(90^\circ - A) = \sin A$ ヲ證セ.

九 日

- 1). 次ノ二式ノ最大公約数及ビ最小公倍数ヲ求メヨ.

$$8x^2 - 2x - 21$$

$$6x^3 - x^2 - 11x + 6$$

- 2). $x^2 + (a+b)x + ab = (x+a)(x+b)$ ナル公式ニ準ジテ次ノ諸式ヲ因数ニ分解セヨ

I. $x^2 + 13x + 36$

II. $x^2 - 15x + 36$

III. $x^2 + 9x - 36$

九 日

- 問題 24. 二邊及ビ一ノ角ヲ與ヘラレタ三角形ヲ作レ.

- ,, 25. 與ヘラレタル弧ヲ二等分セヨ.

- ,, 26. 二ツノ與ヘラレタル圓ニ共通切線ヲ作レ.

十 日

- 1). $\sqrt{180}$ 及ビ $\sqrt{363}$ ヲ有理數ト無理數トノ積ニ化セヨ.
2). 下ノ次ヲ簡單ニセヨ.

(43年海軍機関學校)

$$\frac{1}{x^2+3x+2} = \frac{1}{x^2+4x+3} + \frac{1}{x^2+5x+6}$$

十 日

定理 6. 底邊ト高サトヲ等シクスル平行四邊形ノ面積ハ相等シ.

問題 27. 底邊ト高サトヲ等シクスル三角形ノ面積ハ相等シ.

定理 7. 直角三角形ノ斜邊ノ上ノ正方形ノ面積ハ他ノ二邊ノ上ノ正方形ノ面積ノ和ニ等シ.

問題 28. 四邊形ABCDノ對角線ガ直角ニ交ハル時ハ $\overline{AB}^2 + \overline{CD}^2 = \overline{BC}^2 + \overline{DA}^2$ ナリ

十　　日

- 1). $\tan 60^\circ \sin^2 45^\circ = \cos 30^\circ$
- 2). $(\tan A + \tan B)(\cot A - \cot B) + (\tan A - \tan B)(\cot A + \cot B)$ ツ簡単ニセヨ.

(44年海軍機関學校)

十一　日

問題 29. 二ツノ直線上ノ正方形ノ面積ノ差ハ直線ノ和ト其ノ差トノ包ム矩形ノ面積ニ等シ。

„ 30. 三角形ノ二ツノ邊ノ上ノ正方形ノ和ハ底邊ノ半分ノ上ノ正方形ト二邊ノ夾ム角頂ヨリ對邊へ下セル中線ノ上ノ正方形ノ面積ノ和ノ二倍ナリ。

十一日

- 1). $\cos A$ 及 $\cot A$ を表せ。
(40年海軍兵学校)
- 2). C の直角を含む直角三角形 ABC に於て $A=30^\circ$, $c=9$ の時其他の锐角及比斜邊
ニアラザル二邊を求メヨ。

十一日

- 1). $\sqrt{13} + \sqrt[3]{39}$ ト何レガ大ナルカ。
- 2). $\frac{5x}{2} - \frac{2}{3x} = x$ の解を且ツ之ヲ驗算セヨ。
- 3). $(3-\sqrt{-5})(3+\sqrt{-5})$ の簡単化セヨ。

十 二 日

- 1). $\sqrt{-16} - \sqrt{-1} + 3\sqrt{-9}$ ヲ簡約セヨ.
- 2). 或ル仕事ヲナスニ甲乙二人ニテナサバ六日ヲ要シ甲一人ニテナサバ乙一人ニテナ
スヨリモ二倍ノ日數ヲ要スト云フ各一人ニテナスニ要スル日數ヲ問フ.

十 二 日

定理 8. 三角形ノ一ツノ邊ニ平行ナル直線ハ他ノ二ツノ邊ヲ同ジ比ニ分ツ.

問題 31. 上ノ定理ノ逆ヲ證明セヨ.

,, 32. 一定點ヨリ一定直線ニ至ル直線ヲ同ジ比ニ分ツ點ノ軌跡ヲ求ム.

十二日

- 1). 次の函数の値ヲ求メヨ。

$$\sin 39^\circ 25' \quad \tan 22^\circ 40'$$

- 2). $\begin{cases} \tan \theta + \cos \theta = a \\ \tna \theta - \cos \theta = b \end{cases}$ 且 θ を消去セヨ。

(42年商船學校)

十三日

- 1). $3\sqrt[3]{8}$ 及 $13\sqrt[7]{7}$ の根數の係数の根號ヲ下ニ入レヨ。

- 2). 次の分數ヲ簡単ニセヨ。 (45年東京高等師範學校)

$$\left\{ \frac{b + \frac{a-b}{1+ab}}{1 - \frac{(a-b)b}{1+ab}} - \frac{a - \frac{a-b}{1-ab}}{1 - \frac{a(a-b)}{1-ab}} \right\} \div \left(\frac{a}{b} - \frac{b}{a} \right)$$

十一三日

定理 9. ニツノ角ガ相等シキニツノ三角形ハ相似ナリ.

問題 33. 二等邊三角形 ABC の底 BC の半徑トシ B の中心トシテ畫ケル圓周ガ AC 邊
ヲ D ニ於テ截ルトキハ BC ハ AC. ト CD トノ比例中項ナリ.

定理 10. ニツノ邊ノ比及ビ其ノ夾角ガ夫々相等シキニツノ三角形ハ相似ナリ.

十一三日

1). 次ノ方程式ヨリ A ヲ求メヨ.

I. $\sin A = 0.5333$

II. $\tan A = 1.4555$

2). $\tan^2 A \cosec^2 A + 1 + \cot^2 A \neq \sin A$ ノ項ニテ示セ.

十四日

定理 11. 三ツノ邊ノ比ガ夫々相等シキ二ツノ三角形ハ相似ナリ。

問題 34. ニツノ直線 AB, CD 或ハ其ノ延長ガEニ於テ交ヘリ $\frac{AE}{CE} = \frac{ED}{EB}$ ナル時ハ A, B, C, D ハ同一圓周上ニアリ。

,, 35. 三角形ノ三邊ノ中點ヲ結ビ付ケテ生ズル三角形ハ原ノ三角形ニ相似ナリ。

十四日

1). C ヲ直角トセル三角形 ABC = 於テ $A = 45^\circ$ $b = 35$ ヲ與ヘテ他ノ一銳角及ビ斜邊ヲ求メヨ。

2). $\sin(90^\circ - A) \cot A \cot(90^\circ - A) \sec A = 1$ ヲ證セヨ。

十四日

- 1). $\left(\frac{3x+4}{5}\right)^2 - \frac{12}{5}x = 8\frac{1}{5}$ ヲ解ケ。
(45年小樽高等商業學校)
- 2). 速度一時間ニツキ a 涩ナル漁船ガ河流 b 涩ヲ上下スルニ t 時間ヲ要セリト云フ河流ノ速度幾何ナルヤ。

十五日

定理 12. 二ツノ三角形ノ一ツノ角ガ相等シク他ノ一ツノ角ヲ夾ム邊ガ比例ヲナストキハ三角形ノ第三角ハ相等シキカ或ハ互ニ補角ナリ若シ相等シケレバ二ツノ三角形ハ相似ナリ。

問題 35. O ニ於テ交ハル二ツノ直線 MN ト PQ トアリ又 MP ト NQ トノ交點ヲ R トス然ル時 $= \frac{OM}{MP} = \frac{ON}{NQ}$ ナル時ハ三角形 PQR ハ二等邊三角形ナリ。

十五日

- 1). 直角三角形ノ斜邊ノ長サ 25 ツノ銳角 = 60° ヲ與ヘテ他ノ部分ヲ求メヨ。
 2). $2 \sin^2 30^\circ \sec 60^\circ - \sin 60^\circ \tan 30^\circ + \cot^2 45^\circ$ ノ値ヲ求メヨ。

十五日

- 1). 下ノ聯立方程式ヲ解ケ。

(45年商船學校)

$$x+y=9 \quad (a)$$

$$x^2+y^2-xy=21 \quad (b)$$

- 2). $ax^2+bx+c=0$ ナル二次方程式ノ根ハ $\frac{-b \pm \sqrt{b^2-4ac}}{2a}$ ナリ之レヲ 應用シテ次ノ
方程式ヲ解ケ。

$$16x^2+10x-48=0$$

(45年陸軍士官候補生)

十六日

- 1). 直角三角形ノ一ツノ銳角ノ大サハ 45° ニシテ之レニ對スル邊ノ長サ 16 ナル時他ノ部分ノ值ヲ求メヨ.
- 2). 東西一哩ヲ距ツル二地 A, B ニ於テ二人ノ觀測者空中飛行機ヲ望ミタルニ其方位ハ北西及北東ニ當リ仰角各四十五度ナルコトヲ知レリ飛行機ノ高サ如何.

(43年海軍經理學校)

十六日

- 1). $ax^2 + bx + c = 0$ ノ二根ガ α 及 β トスレバ方程式ノ係數ト根トノ間ニ次ノ關係アルコトヲ證セヨ.

$$\alpha + \beta = -\frac{b}{a}$$

$$\alpha\beta = \frac{c}{a}$$

- 2). $x - \sqrt{x+3} = -1$ ヲ解ケ.

(43年早稻田大學高等豫科)

十六日

問題 36. 相似多角形ノ周囲ノ比ハ其對應邊ノ比ニ等シ。

” 37. APB ハ直徑 AB 中心 C ナル半圓ニテ N ハ CB 上ノ任意ノ點ニシテ AB ヲ
T マテ延長シ $\frac{CT}{CA} = \frac{AC}{CN}$ ナリトス T ヨリ引ケル切線ガ半圓 P ニ於テ切スレバ \hat{CNP}
ハ直角ナリ。

十七日

1). 次ノ式ヲ計算セヨ。

I. $x^8 \times x^3$

II. $x^5 \div x^2$

2). 或人若干ノ土地ヲ地代 144 圓ニテ借受其内 8 段ヲ自家用ニ供シ其ノ殘リヲ自己ノ
借賃ヨリハ一段ニツキ 20 錢宛高ク他人ニ轉貸シタルニ依リ其賃金ヲ以テ丁度地主
ニ全クノ地代ヲ拂ヒ得タリト云フ其ノ人ノ借リシ總段數如何。

(43年第1, 2, 3, 4, 5, 6, 8 高等學校)

十七日

- 問題 13. 三角形ノ頂角或ハ之レニ隣ル外角ヲ二等分スル直線ガ底ト交ハル點ハ底邊
ヲ他ノ二ツノ邊ノ比ニ内分或ハ外分ス。
- ” 38. 三角形 ABC の邊 BC を D ニ於テ二等分シ $\hat{A}DC$, $\hat{A}DB$ ヲ二等分スル直線ガ
AC, AB, ト夫々 E, F, ニ於テ出會ハシムル時 EF // BC = 平行ナリ
- ” 39. 直角三角形ニ於テ直角ノ頂點ヨリ對邊へ下セル垂線ハ相似ナルニツノ三角
形ニ分チ又各ト全三角形トモ相似ナリ。

十七日

- 1). 平面三角法ニ於テ如何ニシテ直線ノ正負ヲ定ムルカ。
- 2). 海上百尺ノ高サアル一艦ノ檣頭アリ他ノ艦際ヲ觀測セシニ俯角三十度ヲ得タリト
云フ二艦ノ距離ヲ問フ。

(43年海軍經理學校)

十八日

問題 40. 直角三角ノ直角ノ頂點ヨリ對邊ヘ下セル垂線ニヨリ分タル底ノ二ツノ分ノ比ハ二邊ノ平方ノ比ニ等シ。

定理 14. 相似三角形ノ面積ノ比ハ對應邊ノ上ノ正方形ノ面積ノ比ニ等シ。

„ 41. $\triangle ABC$ ノ重心ヲ G トシ BC, AC ノ中點ヲ E, F トス $\triangle ABG \sim \triangle GEF$ トノ面積ヲ比較セヨ。

十八日

1) 平面三角法ニ於テハ平面ヲ四ツノ分面(象限トモ云フ)ニ分ツ。之レヲ圖示セヨ。

2). $(\csc A - \sin A)(\sec A - \cos A)(\tan A + \cot A)$ ノ簡單ニセヨ。 (44年商船學校)

十八日

1. 次式ノ計算セヨ。

$$\sqrt{\frac{36a^4b^2c^{10}}{144x^6y^2z^6}}$$

注意 分母子別々ニ平方根ヲ求ムベシ。

2). 下ノ聯立方程式ヲ解ケ。

(44年海軍機関學校)

$$x+y+z=2 \quad (a)$$

$$x^2+y^2=5 \quad (b)$$

$$xy=2z^2 \quad (c)$$

十九日

問題 42. 三角形ノ外接圓ノ直徑ハーツノ頂點ヨリ之ニ對スル邊へ引ケル垂線及ビ其ノ頂角ヲ夾ム二邊ノ第四比例項ナリ。

,, 43. 圓ノ二ツノ平行ナル切線ガ A ニ於テ切スル第三ノ切線ト P, Q ニ於テ交ハルトキハ半径ハ AP, ト AQ トノ比例中項ナリ。

十九日

- 1) P ハ第二象限(分面トモ云フ)ニ於テ, Q ハ第四象限ニ於テ水平線ヨリ 3 尺垂直線ヨリ 5 尺ノ位置ニアリ圖ニ依ツテ又圖ニアラズシテ如何ニシテ其ノ位置ヲ示スヤ.
- 2). 六疊ノ敷部屋ノ相隣ト二邊ル對角線トガナス三角形ノ凡テノ部分ノ大サヲ見出セ.

十九日

- 1). 次ノ式ヲ根號ヲ用キズシテ簡單ニシ得タル結果ヲ根號及ビ正ノ整指數ニテ表ハセ.

$$4a^{\frac{1}{2}}b^{-\frac{3}{2}}c^5 \times 8^{-1}a^{-\frac{5}{2}}b^{\frac{3}{2}}c^{-5}$$

- 2). 次ノ式ノ計算セヨ.

$$\sqrt{(x^4 - 4x^3 + 6x^2 - 4x + 1)^{\frac{1}{2}}}$$

注意 :— 括弧内ノ式ノ平方根ヲ求メ其ノ結果ノ平方根ヲ求ムベシ.

二 十 日

- 1). 平面三角法ニ於テハ平面角ノ正負ヲ區別ス圖ヲ與ヘテ之レヲ説明セヨ。
- 2). $2\sin 30^\circ \cos 30^\circ \tan 30^\circ = \cos 60^\circ$.

二 十 日

- 1). $\frac{2}{5}$ ト $\frac{1}{5}$ トヲ根トスル方程式ヲ作レ。
- 2). $ax^2 + bx + c = 0$ ナル方程式ニ於テ $b^2 - 4ac >= < 0$ ニ從ツテ起ル根ノ値ノ變化ヲ論セヨ

二 十 日

定理 15. 四ツノ直線ガ比例ヲナストキハ外項ノ包ム矩形ハ内項ノ包ム矩形ニ等シ.

注意: 算術又ハ代數ニ於テ比例式ノ外項ノ積ハ内項ノ積ニ等シト云フト同ジコトナリ.

” 16. 二ツノ矩形ガ相等シキ時ハ其ノ邊ナル四ツノ直線ハ一ツノ矩形ノ邊ガ内項
他ノ矩形ノ邊ガ外項ナル様ニ比例ヲナス.

問題 44. 直角三角形ノ直角ノ頂點ヨリ斜邊ヘ下セル垂線ノ上ノ正方形ノ面積ハ斜邊
ヲ垂線ノ足ニ由リ分タレタル二ツノ分ノ包ム矩形ノ面積ニ等シ.

二 十 一 日

1). 次ノ式ノ立方根ヲ求メヨ.

$$-27x^8y^{64}$$

2). 次ノ方程式ヲ解ケ.

$$x^4 + 4x^3 + 6x^2 + 4x + 1 = 0$$

二 十 日

定理 15. 四ツノ直線ガ比例ヲナストキハ外項ノ包ム矩形ハ内項ノ包ム矩形ニ等シ。

注意：— 算術又ハ代数ニ於テ比例式ノ外項ノ積ハ内項ノ積ニ等シト云フト同ジコトナリ。

” 16. ニツノ矩形ガ相等シキ時ハ其ノ邊ナル四ツノ直線ハーツノ矩形ノ邊ガ内項
他ノ矩形ノ邊ガ外項ナル様ニ比例ヲナス。

問題 44. 直角三角形ノ直角ノ頂點ヨリ斜邊へ下セル垂線ノ上ノ正方形ノ面積ハ斜邊
ヲ垂線ノ足ニ由リ分タレタルニツノ分ノ包ム矩形ノ面積ニ等シ。

二 十 一 日

1). 次ノ式ノ立方根ヲ求メヨ。

$$-27x^8y^{64}$$

2). 次ノ方程式ヲ解ケ。

$$x^4 + 4x^3 + 6x^2 + 4x + 1 = 0$$

二十一日

- 問題 45. 圓外ノ點 P ヨリ引ケル割線ガ圓 A, B = 於テ交ハル時ハ PA + PB トノ包ム矩形ハ此點ヨリ引ケル切線ノ上ノ正方形ノ面積ニ等シ。
- ” 46. 圓周上ノ一點 P ヨリ弦 AB = 下セル垂線 PQ の平方ハ P = 於ケル切線ニ A, B ヨリ下セル垂線 AC, BD トノ包ム矩形ニ等シ。

二十二日

- 1). 第三分面(象限トモ云フ)ニ於ケル正角ノ正弦第三分面ニ於ケル負角ノ正切ハ如何ナル符號ヲ取ルカ、之レヲ説明セヨ。
- 2). $p \cot A = \sqrt{q^2 - p^2}$ ナルトキ $\sin A, \cos A$ 及ビ $\tan A$ ヲ求メヨ。 (45年海軍經理學校)

二十二日

定理 16. 二點 A, B よりノ距離ノ比ガ一定セル點ノ軌跡ハ之レヲ連ヌル直線ヲ此比
=調和ニ分ツ二點 P, Q ノ間ノ線分ヲ直徑トスル圓周ナリ。

問題 47. 三點ヨリノ距離ノ比ガ $1:m:n$ ナル點ヲ求ム。

二十二日

- 1). 次ノ各角ハ第何象限(分面トモ云フ)ニアルカ。
 $260^\circ, -215^\circ, 405^\circ, -932^\circ$
- 2). 高サ 50 尺ノ塔ノ頂上ニ旗竿アリ塔底ト同一水平面ノ一點ヨリ観測セシニ塔ノ頂
上及ビ竿頭迄ノ仰角夫々 30° 及ビ 45° ナリシト云フ旗竿ノ長サ如何

二十二日

- 1). $(a^2+ab+b^2) : a-b, (a^2-b^2) : (a^2-b^2)$ の復比ヲ作レ.
- 2). 等差級數ノ初項ヲ a , 項數ヲ n , 末項ヲ l , 總和ヲ S トシテ次ノ諸式ヲ作レ.
- a, n, d を用キテ S を表ハス式
- a, n, d を用キテ s を表ハス式
- a, d, s を用キテ n を表ハス式
- n, l, s を用キテ d を表ハス式

(44年海軍士官候補生)

二十三日

- 問題 48. 半圓内ニ正方形ヲ内接セシメヨ.
- , 49. 二線分ノ差(p)及ビ其ノ積(q^2)ヲ知リテ此ノ二線分ヲ作ルゴト.

二十三日

- 1). 次の各角の餘角ヲ與ヘヨ
 $18^\circ, -50^\circ, 325^\circ$.
- 2). $\sin A = \frac{3}{5}$ ナルコトヲ知リ $\tan A - \sec A$ の値ヲ求メヨ

二十三日

- 1). $\sqrt{7} - \sqrt{5} + 11\sqrt{7} + 13\sqrt{5}$ トノ比例中項ヲ求メヨ. (45年1-8高等學校)
- 2). 相異ナル三ツノ數ガ同時に等差級數ニシテ且ツ等比級數ナルコトアルカ.
 (45年1-8高等學校)

二十一日

- 1). 今 A が鋭角ナリシテ次式ヲ圖ヲ與ヘテ説明セヨ。

$$\sin A = \sin(180^\circ - A) = \sin(360^\circ + A)$$

- 2). $\cos^0 \sin^2 270^\circ + 2 \cos c 90^\circ + \tan 180^\circ \cos 270^\circ$ の計算セヨ。

二十一日

- 1). 2 ト 9 トノ間ニ二ツノ數ヲ挿入シテ初メノ三數ハ等差級數後ノ三數ハ等比級數ト

ナル様ニセヨ。

(44年東北大學農科大學豫科)

- 2). $13(7x - 3y) = 6(5y - 4x)$ ナルトキ $x : y$ の値ヲ求メヨ。

二 十 四 日

- 問題 50. 圓ニ内接スル四邊形ノ對邊ノ矩形ノ和ハ對角線ノ矩形ニ等シ。
- „ 51. 圓ニ内接スル四邊形ノ對角線ガ直交スルトキハ對邊ノ矩形ノ和ガ四邊形ノ面積ノ二倍ナリ。

二 十 五 日

- 1). $8 - 12x + 18x^2 - 13x^3 + 9x^4 - 3x^5 + x^6$ の立方根ヲ求メヨ。
- 2). 1ヨリ 300迄ノ間ニ於テ 7ニテ割リ切ル、數ハ幾ツアルカ又其ノ和ハ幾何ナルカ。

(44年仙臺、千葉、金澤、岡山、長崎醫學専門學校)

二十五日

- 問題 52. 二圓ガ相交ハルトキ其ノ交點ヲ結ビ付クル直線ハ其ノ二圓ノ共通切線ノ兩
切點間ヲ二等分ス.
- „ 53. 二ツノ圓周ガ相接スルトキハ其ノ共通切線ノ切點間ノ部分ハ兩直徑ノ比例
中項ナリ.

二十六日

- 1). $\begin{cases} \sin(-A) = -\sin A \\ \cos(-A) = \cos A \end{cases}$ ヲ圖ヲ與ヘテ説明シ又此ノ二式ニヨリ $\tan(-A) = -\tan A$, $\cot(-A) = -\cot A$ ヲ證明セヨ.

二十六日

- 問題 54. 與ヘラレタルニツノ有限直線ノ比例中項タルベキ有限直線ヲ作ルコト。
 " 55. 相似三角形ノ面積ノ比ハ對應角ノ頂點ヨリ對邊へ下セル垂線ノ長サノ平方
 ノ比ニ等シ。

二十六日

- 1). $\sin A$ ハ A ガ 0° ヨリ 360° ニ變ズルニ從ツテ其ノ值ヲ變ズベキナリ。其ノ變化ノ有
 様ヲ論ゼヨ。
- 2). 次ノ二ツノ式ヨリ A 及ビ B を見出セ。
- $$\tan A \tan B = 1 \quad (1)$$
- $$\tan^2 A + \tan^2 B = \frac{10}{3} \quad (2)$$

二十六日

1). $a:b=c:d$ トナルト $a+c:b+d=a^2d:b^2c$ ナルコトヲ證セヨ。

(42年仙臺高等工業學校)

2). $1+\frac{3}{25}$ の間ニ 3 個ノ調和中項ヲ入レヨ。

二十七日

定理 17. 一ツノ直線ヲ含ミ且ツ此ノ直線外ノ點ヲ過ギル平面ハ一ツアリ唯一ツニ限ル。

問題 56. 相平行スル二ツノ直線ヲ含ム平面ハ一ツアリツニ限ル。

,, 57. 二ツノ平面ノ交ハリハ如何ナルモノトナルカ。

二十七日

1). -210° ナル角ノ正弦、餘弦及ビ正切ヲ求メヨ

(40年海軍機器學校)

2). 下ノ式ヲ最簡ニセヨ。

$$\frac{(a+b)\tan(90^\circ - A)}{\cot(180^\circ - A)} + \frac{(a-b)\tan(90^\circ + A)}{\cot(180^\circ + A)}$$

(45年海軍機器學校)

二十七日

1). 2, 4, 8, 16, 32……ナル級數アリ

I. 其ノ第十五項ヲ問フ。

II. 其ノ第十五項迄ノ和ヲ問フ。

二十八日

- 問題 58. 平面幾何學ニ於テハ平行カラザル直線ハ必ズ交ハル立體幾何學ニ於テハ如何。
 „ 59. 一ツノ直線ニ垂直ナル二直線ハ常ニ平行ナルカ。

二十八日

1). $\sin\theta + 2\cos\theta = 1$ ヲ解ケ。

(45年商船學校)

2). 次式ニ適スペキ 90° 以内ノ A ヲ求メヨ。

$$\frac{\cot(90^\circ - A)\cos^2(180^\circ - A)\cot^2 A}{\cosec^2 A \sin^2(270^\circ + A)} = 2.$$

(43年海軍兵學校)

二十八日

1). 次ノ方程式ヲ解ケ.

$$x^4 - 6x^2 + 8 = 0$$

2). $acx^2 + (bc+ad)x + bd = (ax+b)(cx+d)$ ナル公式ニ準ジテ次ノ代數式ヲ因數ニ分解セヨ.

I. $3x^2 + 10x + 8$

II. $3x^2 - 10x + 8$

III. $3x^2 + 11x + 8$

二十九日

1) $x^3 + 3x^2 - 5x + 7$ ナル多項式ヲ $x+4$ ヲ以テ割ラントスニ當リ先づ整除シ得ルヤ否ヤヲ驗セントス其ノ方法如何. 若シ整除シ能ハザル場合ニハ x ヲ含マザル項即チ 7 ヲ如何. ニ變ズベキヤ.

二十九日

定理 18. 與ヘラレタル點ヲ通り與ヘラレタル平面ニ垂直ナル直線ハーツアリ唯一ツニ限ル.

問題 60. 一ツノ平面ニ垂直ナル直線ヲ通ル平面ハ悉ク第一ノ平面ニ垂直ナリ.

定理 19. 一ツノ平面ノ垂線上ノ任意ノ一點ヲ其ノ足ヨリ平面上ノ任意ノ直線へ下ス垂線ノ足ニ結び付クル直線ハ平面上ノ此ノ直線ニ垂直ナリ.

注意:- 此ノ定理ヲ三垂線ノ定理ト云フ.

三十日

1). 方程式 $(x-a)(1-x)=1$ ガ等根ヲ有スルガ爲メニハaヲ如何ニ定ムベキカ

(44年仙臺高等工業學校)

三十日

- 問題 61. 平面ニ交ハル直線ハ少クモ其ノ平面上ノ二ツノ直線ニ垂直ナリ
 „ 62. 同一ノ平面ニ垂直ナルニツノ直線ハ平行ナリ。

三十日

- 1). 次ノ無限級數ノ和ヲ最モ簡単ナル形ニアラハセ
 $a\sin\theta, a\sin\theta \cos\theta, a\sin\theta \cos^2\theta, a\sin\theta \cos^3\theta.$

(43年仙臺高等工業學校)

2). $\frac{\sin(-A)}{\sin(180^\circ+A)} - \frac{\tan(90^\circ+A)}{\cot A} + \frac{\cos A \cos 0^\circ}{\sin(90^\circ+A)}$ ヲ最簡ニセヨ。

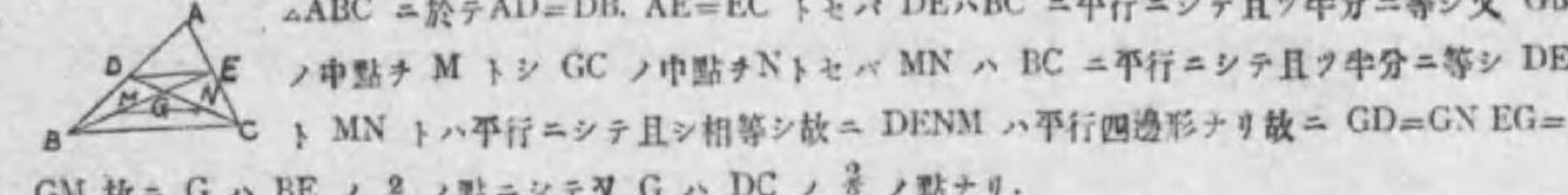
(45年海軍經理學校)

五年代數複習問題解答指針

一 日 2). 數字係數ノ加減法ハ算術ノ加減法ニヨル。二 日 1). 十位ノ數ハ 10a ナリ。2). 第一ニ得ル積 $15x^4+5x^3-5x^2+4x-4$ 次ニ得ル商 $5x^3+4x^2+x+9$ 。四 日 1). 方程式ノ兩邊ニ -1 チ乗ズル結果ナリ熟考スベシ。2). 各項ノ首號ヲ變レバ一邊ヨリ他邊ニ移スチ得。五 日 1). 括弧ヲ解キテ x チ含ム項チ左邊ニ他ノ邊チ右邊ニ集メ簡約スレバ一次方程式ヲ得 答 -a. 2). 何レノ方法ニヨルモ $x=2, y=3$ 。六 日 1). 答 $x < 4$ 2). 二十年前ニ於ケル賃錢チ x 材料代チ y トスレバ題意ニヨリ $x+y=125, 2x+1\frac{3}{4}y=230$ 之レヨリ $x=45, y=80$ 2). 賃金=90圓材料=140圓。七 日 1). I. 完全平方ナリ II. 括弧ヲ解キ $at-b^2$ ニ公式(3)ヲ應用シ他ノ二項チ ab ニテ括リ再び同一ノ公式ヲ使用シ通因數ニテ括リテ乘法公式(2)ヲ利用ス。2). 第一式ヨリ y 及ビ x チ x ニテアラハシテ第二式ノ y 及ビ x ニ代用シ x ノミノ式トシテ其ノ值ヲ求ムレバ $x = \frac{as}{a^2+b^2+c^2}$, $y = \frac{bs}{a^2+b^2+c^2}, z = \frac{cs}{a^2+b^2+c^2}$ 八 日 1). $x-y=2$. 九 日 1). 第一式チ因數ニ分解スレバ $(4x-7)(2x+3)$, 第二式ノ係數ノ和=0トナルチ以テ第二式ハ $x-1$ ナル因數ヲ有ス。 $x-1$ チ以テ元式ヲ割レバ $6x^2+5x-6$ チ得之レチ因數ニ分解スレバ $(2x+3)(3x-2)$ 2). 此ノ二式ノ最大公約数ハ $(2x+3)$ ニシテ最小公倍数ハ $(4x-7)(2x+3)(3x-2)(x-1)$ 。2). I. $(x+4)(x+9)$ II. $(x-3)(x-2)$ III. $(x-3)(x+12)$ 。十 日 1). $\sqrt{180} = \sqrt{36 \times 5} = \pm 6\sqrt{5}$ II. $\pm 11\sqrt{3} - 2$. $\frac{1}{(x+1)(x+3)}$ 十一日 1). $\sqrt{13} = \sqrt[3]{(\sqrt{13})^3}$ $= \sqrt[3]{13^3} = \sqrt[3]{2917}$, $\sqrt[3]{39} = \sqrt[3]{(\sqrt[3]{39})^2} = \sqrt[3]{39^2} = \sqrt[3]{1521}$ 2). $x = \pm \frac{3}{\sqrt[3]{13}}$ 方程式ノ左邊及ビ右邊ノ $x = +\frac{2}{3}$ or $-\frac{2}{3}$ チ置キテ驗スレバ兩邊ノ値等シキチ見ル。3) $9 - (-5) = 14$ 。十二日 1). 元式 $= 4\sqrt{-1} - \sqrt{-1} + 9\sqrt{-1} = 12\sqrt{-1}$ 2). 甲一人ニテナスニ要スル日數 x トスレバ乙一人ニテナスニハ $2x$ チ要ス。甲一人ノ一日ニテ仕事ハ $\frac{1}{x}$ ニシテ乙一人ノ一日ノ仕事ハ $\frac{1}{2x}$ ナリ。題意ニヨリ $\frac{6}{x} + \frac{6}{2x} = 1$ チ得之レヨリ $x=9$ チ得即チ甲一人ニテナセバ 9 日チ要ス。十三日 1). I. $\sqrt[3]{3^3 \times 8} = \sqrt[3]{216}$ II. $\sqrt{1183} - 2$. 被除數ノ初メノ分數=a, 次ノ分數=b 除數 $\frac{(a+b)(a-b)}{a+s}$ 2). 答 $\frac{ab}{a+b}$ 十四日 分母ヲ拂ヒ移行簡約スレバ $9x^2 - 36x - 189 = 0$ チ得。之レチ分解スレバ $(3x+9)(3x-21) = 0$ 之レヨリ $x = -3$ or 7 。2). 河流ノ速度=x トスレバ船が河ヲ降ル時ノ速度ハ $a+x$ ニシテ b 混チ降ルニ要スル時間ハ $\frac{b}{a+x}$ ナリ。次ニ上ル時ノ速度ハ $a-x$ ニシテ b 混チ上ルニ要スル時間ハ $\frac{b}{a-x}$ ナリ。題意ニヨリ $\frac{b}{a+x} + \frac{b}{a-x} = t$ 之レヨリ $x = \sqrt{\frac{at-2ab}{t}}$ 但シ速度ノ負ナルハ無意味ナルチ以テ答トシテ $\sqrt{\frac{at-2ab}{t}}$ チ取ル。十五日 1). (b) 式ノ左邊ニ $2xy$ チ加ヘテ引ケバ $(x+y)^2 - 3xy = 21$ チ得。然ルニ (a) 式ニヨリ $x+y=0$ 2). 上ニ得タル式ハ $y^2 - 3xy = 21$ 即チ $xy=20$ ブナル。此ノ方程式ト(a)式ヨリ $y=4$ or 5 , $y=4$ ブゼバ $x=5, y=5$ ブゼバ $x=4$ 即チ二對ノ答チ得。2). 根ノ公式=a=16, b=10, c=-48 チ入レテ計算セヨ。十六日 1). 完全二次方程式ノ根ノ公式ヲニツ加ヘ合シ次ニ乘ケ合セバ $-\frac{b}{a}, \frac{c}{a}$ チ得。2). $x=-2$ or 1 。十七日 1). I. $x^{8+3}=x^{11}$ II. $x^{5-2}=x^3$ 2). 反數チ x トスレバ題意ニヨリ $(\frac{14400}{x} + 20)(x-8) = 14400$ 之レヨリ $x=80$ or -72 反數ニ負數ハ意味ナキコトナリ。2). 答 80 反。十八日 1). 答 $\frac{a^2bc^5}{2x^3yz_4} - 2$. (a) 式ノズテ右邊ニ移シテ兩邊ヲ自乘スレバ $x^2 + 2xy + y^2 = 4 - 4z + z^2$ 2). $5 + 4z^2 = 4 - 4z + z^2$ 移項スレバ $3z^2 + 4z + 1 = 0$ 2). $(3z+1)(z+1) = 0$ 2). $z = -\frac{1}{3}$ or -1 (c) 式 = z ノ値ヲ代用シテ得ル式ト(b)式トニヨリ $x+y$ 及ビ $x-y$ ノ値ヲ求メ此ノ二式ヲ加ヘ合シテ x ノ値ヲ求メ、一方ノ式ヨリ他ノ式ヲ引キテ y ノ値ヲ求ムベシスケシテ答 $x = \frac{7+\sqrt{41}}{6}, 2; y = \frac{7-\sqrt{41}}{6}, 1; z = -\frac{1}{3}, -1$ チ得。十九日 1). 號根ヲ用ヰシテ簡單ニシタル結果ハ $\frac{1}{2}a - \frac{1}{3}b - \frac{1}{4}c$ 之レチ根號ヲ用ヰテ示セバ $\frac{1}{2}\sqrt{\frac{1}{3}\sqrt{b-2c}}$ 2). 元式 $= \sqrt{x^2 - 2x + 1} = x - 1$ 。二十日 1). 二次方程式ノ根ト係數ノ關係ヲ利用シテ $ax^2 + bx + c = 0$, abc ノ値ヲ求メテ方程式ヲ作ルベシ或ハ又因數分解ヲ逆ニ利用シテ $(x - \frac{a}{b})(x - \frac{c}{a}) = 0$ ブシテ括弧ヲ解クモ可ナリ。2). $b^2 - 4ac$ ハ $ax^2 + bx + c = 0$ ナル方程式ノ根ノ公式ノ分子ノ根

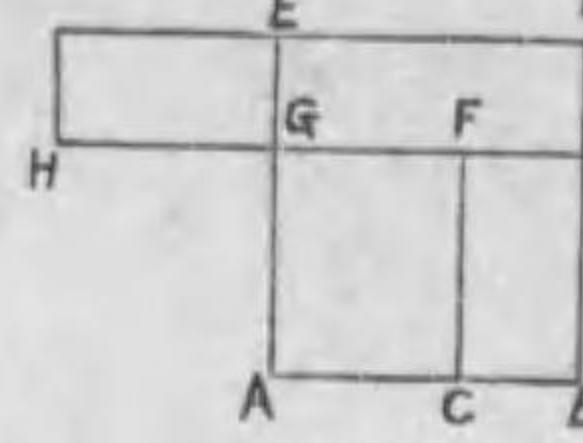
號ノ下ノ式ナリ。之レヲ別式ト云フ。此ノ式ノ値ノ變化ニヨフテ超ル根ノ變化ヲ論ズルナリ。二十一日 1).
 $-3x^2y^4 - 2$ 。項ノ順序ヲ變シテ $x^4 + 1 + 4x^3 + 4x + 6x^2 = 0$ トシ兩邊チ x^2 ニテ割レバ $(x^2 + \frac{1}{x^2}) + 4(x + \frac{1}{x}) + 6 = 0$ 。今
 $x + \frac{1}{x} = y$ トセハ兩邊チ自乘シテ $x^2 + \frac{1}{x^2} + 2 = y^2$ 。∴ $x^2 + \frac{1}{x^2} = y^2 - 2$ 。此ヨリ代入スレバ $y^2 - 2 + 4y + 6 = 0$ 之レヨ
 リ解キテ $y = -2$ 。∴ $x + \frac{1}{x} = -2$ 。之レヨリ解キテ 答 $x = -1$ ナ得。二十二日 1). $a+b : a-b$ 。2). 數料
 書ニツキ研究セヨ之レ等ノ諸式ハ公式トシテ記憶スベシ。二十三日 1). $\sqrt{2(6+\sqrt{35})}$ 2). 三ツノ數チ a, b, c
 トス。 a, b, c が等差級數チナス為メニハ $b-a=c-b$ 。之レヨリ $b = \frac{a+c}{2}$ 又 a, b, c が等比級數ナル為メニハ
 $\frac{b}{a} = \frac{c}{b}$ 之レヨリ $b = \pm \sqrt{ac}$ ∴ $\frac{a+c}{2} = \pm \sqrt{ac}$, $a+c = \pm 2\sqrt{ac}$ 兩邊チ自乘スレバ $a^2 + 2ac + c^2 = 4ac$ 。∴ $a^2 - 2ac + c^2 = 0$ 即 $a-c=0$ ∴ $a=c$ 従フテ等差級數ニ於テモ亦等比級數ニ於テモ $a=b=c$ ナ得。即テ abc が同時ニ
 等差級數ニシテ等比級數ナル為メニハ此ノ三數ハ同一ノモノナルチ要ス 即テ異ナル三數トシテ同時ニニツノ級數
 ナルチ得ズ。二十四日 1). 2+9 トノ間ニ插入スペキニ數チ $a < b$ トシ $a < b$ トス然ルトキハ $? a, b$ ハ等
 差級數チナスチ以テ $a-2=b$ a. 即テ $b=2a-2$. (a)又 $a, b, 9$ ハ等比級數チナスチ以テ $\frac{b}{a} = \frac{9}{b}$ 即 $b^2=9a$. (b)
 (a)式ノ b ノ值チ (b)式ノ b ニ入ルベシ然ルトキハ $(2a-2)^2=9a$ $4a^2-8a+4=9a$ 即 $4a^2-9a+4=0$; $(4a-1)$
 $(a-4)=0$ ∴ $a=\frac{1}{4}$ or 4. 茲ニ 2+9 トノ間ニ插入ベキ a ハ 2 ヨリ大ナルチ要スルチ以テ $\frac{1}{4}$ ハ取ルベカラズ。即
 $4a=4$ ナ取ル。次ニ $a=\frac{1}{4}$ トセバ a式ニ於テ $b=8-2=6$. 2). 答 $\frac{23}{35}$. 二十五日 1). $2-x+x^2 - 2$. I. 42
 II. 初項 7 末項 294 ニシテ公差 6 項數42ナルナル等差級數ナリ今其ノ和チ求メントス $s = \frac{42(7+294)}{2} = 6321$
 二十六日 1). 比例ノ定理及ビ其ノ系チ充分熟讀レテ後試ムベシ。2). I. $\frac{3}{25}$ ノ逆數即チ $1 + \frac{23}{3}$ ノ間ニ 3 個ノ等差
 中項チ入レ各項ノ逆數チ取ルベシ公式ニ夫々相當スル數チ入レテ計算スレバ公差 $= \frac{2}{3}$ ナ得。依テ等差中項ハ $\frac{8}{3}, \frac{12}{3},$
 6 ニシテ求ムル調和中項ハ此ノ逆數 $\frac{3}{8}, \frac{3}{12}, \frac{3}{6}$ ナリ。二十七日 1). 初項=2, 公式= $\frac{1}{2}$, 項數=15ナル等比級數
 ナリ。I. $1=ar^{n-1}$ ニ於テ II. $s = \frac{a(1-r^n)}{1-r}$ ニ於テ $a=2, r=\frac{1}{2}, n=15$ トシテ計算スベシ。二十八日 1). 公式
 (4)ニヨリ $(x^2-4)(x^2-2)=0$ 公式(3)ニヨリ $(x+2)(x-2)(x+\sqrt{2})(x-\sqrt{2})=0$ ∴ $x=\pm 2$, or $\pm \sqrt{2}-2$. I.
 $(3x+4)(x+2)$ II. $(3x-4)(x-2)$ III. $(3x+8)(x+1)$ 。二十九日 1). 元式ガ等根チ有スル為メニハ 1 チ左邊
 ニ移シテ $(x-a)(1-x)-1=0$ 之レヨリ $x^2-(a+1)x+(a+1)=0$ 此ノ左邊ガ完全平方ナルチ要ス。其ノ為メニハ
 $2\sqrt{a+1}=a+1$ 兩邊チ平方シテ a ノ二次式チ作リテ解ケバ $a=3$ or -1 ナ得此ノ内 $a=-1$ ハ元式ニ代入シテ不合
 理ナリ $a=3$ ナ代入スレバ題意ニ適スルチ以テ $a=3$ ハ求ムル値ナリ。

五年級幾何問題解法指針

1. 平角ハ皆相等シト云フ定理ニ由ル。
2.  二ツノ直線ニ一ツノ直線が交リテナス角 4, 5 及 3, 6 トハ錯角ニシテ 1, 5, 4, 8, 2, 6 及 3
 $\frac{1}{2}$ ト 7 トハ同位角ナリ。
3. 定理 1. 二ツノ平行線ニ一ツノ直線が交リテナス錯角及ビ同位角ハ相等シ。
 定理 2. 二ツノ直線ニ一ツノ直線が交リテナス錯角或ハ同位角ガ相等シケレバ二ツノ直線ハ平行ナリ。
4. [問 3] 定理 1) ニヨル。
5. 定理 2) ニ由ル。
6. $\hat{A}=\hat{B}+30^\circ, \hat{B}=\hat{C}+30^\circ$ ∴ $\hat{A}=\hat{C}+60^\circ$ 然ルニ $\hat{A}+\hat{B}+\hat{C}=180^\circ$ ∴ $(\hat{C}+60^\circ)+(C+80^\circ)+C=180^\circ$
 $\hat{C}+60^\circ+\hat{C}+30^\circ+C=180^\circ$ ∴ $3\hat{C}=180^\circ-90^\circ=90^\circ$ ∴ $\hat{C}=30^\circ$ $\hat{B}=60^\circ$ $\hat{A}=90^\circ$
7. 二ツノ三角形チ重合セテ證明チ試ミヨ。
8. 相等シキ角ハ相等シキ邊ニ對シ相等シキ邊ハ相等シキ角ニ對ス。
9. 二ツノ三角形ノ二邊カ夫々相等シク 夾角ガ不等ナル時大角ニ對スル邊ハ小角ニ對スル邊ヨリモ大ナリト
 云フ定理ニヨル。
10. n 邊多角形ノ内ニ任意ノ一点チ取り之レチ各頂點ニ結ア時ハ邊ノ數丈ケノ三角形チ作ルコトヲ得ル故ニ各
 ノ三角形ノ内角ノ凡テノ和ハ $2\times n$ 直角ナリ然ルニ n 邊多角形ノ内角ノ和ハ之レヨリ 4 直角チ引キタル
 モノナリ故ニ $(n-4)$ 直角ナリ故ニ一ツノ角ハ $(2-\frac{4}{n})$ 直角ナリ。
11. 平行四邊形性質及ビ問 3. 問 7. ニ由ル。
12. $\triangle ABC$ ノ二ツノ中點 DE チ延長シテ DE=DF ナ取リ F チ底ノ一端ニ結ビテ 問 7. ニ適用シテ見ヨ。
13. 底ノ一端ヨリ對邊ヘ下セル垂線ニ相等シキトニ柱意セヨ。
14. 二點ノ中一點ノ MN = 對スル對稱點チ取リ他ノ點ト結ア直線チ作リテ考ヘヨ。
15.  $\triangle ABC$ ニ於テ AD=DB, AE=EC トセバ DEハBC = 平行ニシテ且ツ半分ニ等シ又 GB
 ノ中點チ M トシ GC ノ中點チ N トセバ MN ハ BC ニ平行ニシテ且ツ半分ニ等シ DE
 ハ MN トハ平行ニシテ且シ相等シ故ニ DENM ハ平行四邊形ナリ故ニ GD=GN EG=GM 故ニ G ハ BE ノ $\frac{2}{3}$ ノ點ニシテ又 G ハ DC ノ $\frac{2}{3}$ ノ點ナリ。
16. A, B, C, D ナ中心 O = 結ア然ル時ハ $A\hat{D}C = \frac{1}{2}A\hat{O}C, D\hat{A}B = \frac{1}{2}D\hat{O}B$ 然ルニ $A\hat{E}C = A\hat{D}C + D\hat{A}B = \frac{1}{2}(A\hat{O}C + D\hat{O}B)$.
17. $O\hat{A}C = \hat{R}, D\hat{A}C + A\hat{C}D = \hat{R}, A\hat{C}D = D\hat{A}O$
 然ルニ $O\hat{B}A = O\hat{A}B = B\hat{A}C + B\hat{C}A, D\hat{A}B = B\hat{A}C$ ∴ ABハD\hat{A}C ナ二等分ス。
18. 與ヘラレタル點ト圓ノ中心ト結ビ付クル直線チ直徑トスル圓ガ元ノ圓トノ交點ト與ヘラレタル點ト
 結ビテ證明セヨ。
19. 切點チ通リ兩圓ニ共通ナル切線チ引キ考ヘヨ。
20. 二邊ノナス角チ二等分スル直線ガ軌跡ナリ。
21. 底邊チ弦ト頂角チ圓周角トスル弧ガ軌跡ナリ。
22. 定點ト中心ト結ア直線ガ圓ト交ハルニ點ト定點ト結ア直線ノ二ツノ中點チ結ア直線チ直徑トスル圓
 ガ軌跡ナリ。
23. 圓ノ中心ト定點チ結ア直線チ直徑トスル圓ガ軌跡ナリ。
24. 與ヘラレタル角ニ等シキ角チ作り此ノ二邊チ與ヘラレタル二邊ノ長サニ等シク取リテ 兩端チ結ビテ生ズ
 ル三角形ガ所要ノ三角形ナリ。
25. 與ヘラレタル弧ノ兩端チ結ビテ作レル弦ノ垂直二等分線ガ弧ト交ハル點ニヨリ弧チ二等分ス。
26. 二ツノ圓ノ中大圓ノ中心ヨリ二圓ノ差ニ等シキ圓チ作り 小圓ノ中心ヨリ差ノ圓ニ切線チ作り切點ト中心
 チ結ア直線ト大圓トノ交點チ通り此ノ切線ニ平行線チ作レバ共通ナル切線ナリ又小圓ノ中心ヨリ和ニ
 等シキ半徑チ作りチレニ共通切線チ引クコトヲ同様ナル法ニヨリ試ミヨ。

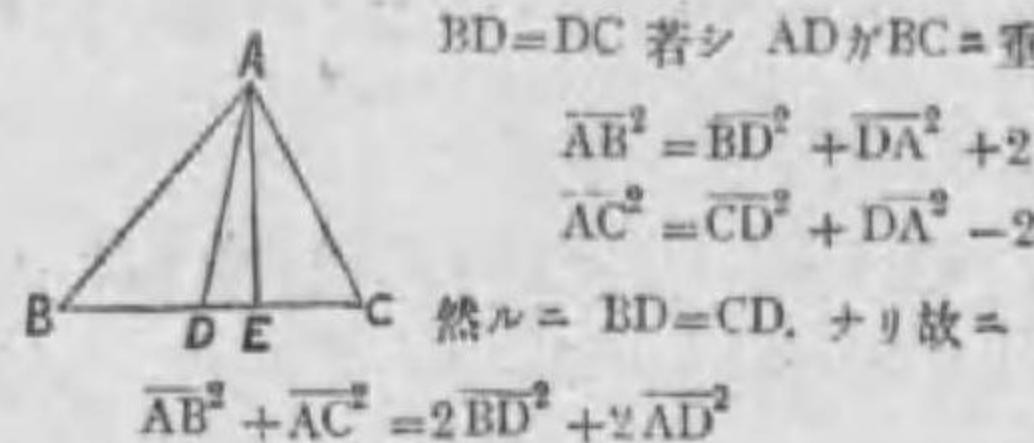
27. 定理 6. ニヨル.
28. 定理 7. ニ由ル.

29.



$AB=a$ $AC=b$ トシ其上 \angle $\angle AD$, $\angle AF$, \angle 同側ニ作リ GF $\angle H$ 造 \angle 延長シ GH $\angle CF$ ニ等シクシ \square EH チ完成セバ \square $DH=(a+b)(a-b)$ ナルコト明ナリ而シテ $\angle AB-\angle AF=\square DG+\square BF=\square DH$
 $\therefore a^2-b^2=(a+b)(a-b)$

30.



$BD=DC$ 若シ AD $\angle BC$ ニ垂直ナラズトセバ $\triangle ADB$ $\triangle AEC$ ト鉛角トシ $AE \perp BC$ トス

$$\overline{AB}^2 = \overline{BD}^2 + \overline{DA}^2 + 2\overline{BD} \cdot \overline{DE}$$

$$\overline{AC}^2 = \overline{CD}^2 + \overline{DA}^2 - 2\overline{CD} \cdot \overline{DE}$$

然ルニ $BD=CD$, ナリ故ニ
 $\overline{AB}^2 + \overline{AC}^2 = 2\overline{BD}^2 + 2\overline{AD}^2$

31. 誰換法ニ由リテ證明セヨ.

32. 一點ヨリ此ノ直線ニ至ル距離ヲ與ヘラレタル比ニ分ツ點ヲ通り此ノ直線ニ平行ナル直線ガ軌跡ナリ.

33. 定理 9. ニ由ル.

34. 定理 10. ニ由リ $\triangle AED \sim \triangle DBE$ トハ相似ナリ故ニ $\angle BAC \sim \angle BDC$ ト相等シ故ニ A, B, C, D , ナル四點ヲ通り圓ヲ畫クコト得ル故ニ同一圓周上ニヨル.

35. 定理 12. ニ由ル.

36. 多角形 $ABCDEF\dots$ $\sim A'B'C'D'E'F'$ トハ相似ナリトス然ル時ハ $\frac{AB}{A'B'} = \frac{BC}{B'C'} = \frac{CD}{C'D'} = \frac{DE}{D'E'} = \dots$ ナリ
故ニ比例性質ニヨリ $\frac{AB+B'C'+C'D'+D'E'+\dots}{A'B'+B'C'+C'D'+D'E'+\dots} = \frac{AB}{A'B'}$

37. 定理 10. ニヨル.

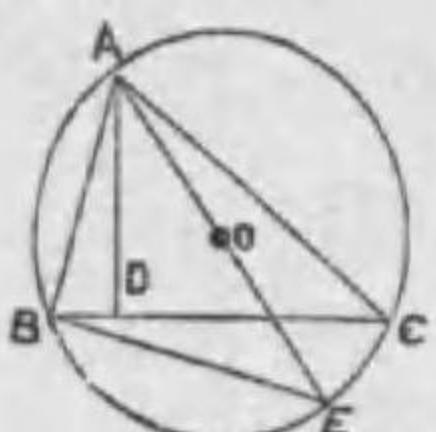
38. 定理 13. 及ビ問題 31. ニ由ル.

39. 定理 9. ニヨル.

40. $\triangle ABC$ ノ頂點 A ヨリ BC ニ下セル垂線ノ足 $\angle D$ トスル時ハ $\frac{BD}{AD} = \frac{AB}{AC}$, $\frac{DC}{AD} = \frac{AC}{AB}$ ナリ故ニ $\frac{BD}{AD} = \frac{AB}{AC} + \frac{AC}{AB}$ 即チ $\frac{BD}{DC} = \frac{AB^2}{AC^2}$.

41. $\triangle ABG \sim \triangle GEF$ トハ定理 10. ニヨリ相似ナリ故ニ $\frac{\angle ABG}{\angle GEF} = \frac{\overline{AB}^2}{\overline{EF}^2}$ ナリ然ルニ $AB=2EF$ ナリ故ニ $\frac{\angle ABG}{\angle GEF} = \frac{4}{1}$ 即チ $\angle ABG \sim \angle GEF$ ノ四倍ナリ.

42.



$\triangle ABC$ ハ與ヘラレタル三角形ニシテ AE ハ直徑ナリトス又 $AD \perp BC$ ナリトスト

$\triangle ADC \sim \triangle ABE$ トハ相似ナリ故ニ $\frac{AD}{AC} = \frac{AB}{AE}$ ナリ.

43. 圓ノ中心 O トスル時ハ $\triangle POQ$ 三角形ニ於テ $\angle POQ$ ガ直角ナルコトヲ證明シ次ニ $\triangle POA \sim \triangle QOA$ が相似ナルコトヲ證明セバ $\frac{PA}{OA} = \frac{OA}{AQ}$ ナリ.

44. 定理 9. 及ビ定理 15. ニ由ル.

45. 定理 9. 及ビ 15. ニ由ル.

46. 切線ト弦トナシ延長シテ交ハラシメテ E トスル時ハ $\angle EAC \sim \angle EPQ \sim \angle EBD$ ハ相似ナリ.
故ニ $\frac{EA}{AC} = \frac{EP}{PQ} = \frac{EB}{BD}$ ナリ, 故ニ $\frac{EA \cdot EB}{AC \cdot BD} = \frac{PE^2}{PQ^2}$ 然ルニ $EA \cdot EB = \overline{EP}^2$ 故ニ $AC \cdot BD = \overline{PQ}^2$ ナラザルベカラズ.

47. 定理 16. ニヨル.

48. 直徑ノ上ニ半圓ト同ジ側ニ正方形ヲ畫キ中心ト此ノ正方形ノ角頂トナシ直線ガ半圓ト交ハル點ヨリ直徑ニ垂線ヲ下シ此ノ垂線ニ由テ生ズル四邊形ガ正方形ナリ.

49. $AB=p$ チ直徑トシ圓ヲ畫キ A ニ於ケル分線上ニ $AC=q$ チ取り C ト中心トナシ直線ガ圓周ト D, E ニテ交ハル時ハ CD, CE ガ求ムル二線分ナリ.



50. $\angle AOC = \angle BAE$ ナル様ニ AE チ作ル時ハ $\triangle ABE \sim \triangle ACD$ トハ相似ナリ故ニ $\frac{AB}{AC} = \frac{BE}{CD}$ 故ニ $AB, CD = AC, BE$ 又 $\triangle ABC \sim \triangle AED$ トハ相似ナリ故ニ $\frac{BC}{ED} = \frac{AC}{AD}$ ナリ. 故ニ $AD, BC = AC, ED$ 故ニ $AB, CD + AD, BC = AC, BD$.

51. 問題 50. ニヨル.

52. 問題 45. ニ由ル.

53. ニツノ切點 A, B トシ此ノ點 \angle 通ル兩圓ノ直徑 AC, BD チ作ル然シテ BC, AD チ結ア時ハ $\triangle ABC \sim \triangle BDA$ トハ相似ナリ故ニ $\frac{AC}{AB} = \frac{AB}{BD}$ トナル.

54. 與ヘラレタル二ツノ線分ノ和ニ等シ直線ヲ直徑トスル牛圓ヲ作リ此ノ二線分ノ續キ目ノ點ヨリ垂線ヲ立ツル時牛圓ニ至ル迄ノ線分が求ムル線分ナリ.

55. 定理 14. ニ由ル.

56. 定理 17. ニ由ル.

57. 直線ナリ.

58. 立體幾何學ニ於テハ平行ナラザル直線交ハルコトモアレハ一般ニハ交ハラズシテ 寧口交ハルハ特別ノ場合即チニツノ直線が同一平面上ニアル時ニ限ル.

59. ニツノ直線が平行ナリトハ其二直線が同一平面上ニアル時ニ限ル故ニニツノ直線ニ重線ナルニツノ直線ハ一般ニ同一平面上ニナシ故ニ平行ナラズ.

60. ニツノ平角ノナス角ノ定義ニヨル.

61. 定理 19. ニ由ル.

62. ニツノ垂線ノ足 \angle 結ア直線ヲ作リテ證明セヨ.

三角法問題解法指針

一日 1). 教科書ニツキ熟考スベシ。2). 直角ハ 90° ナリ。3). $163\dots$ トシテ表ハス。其方法ハ妙數ナ1分ノ秒数即チ60ニテ割り得タル數ナ分ノ小數トシテ分數ノ後ニ續ケ得タル數ナ1度ノ分數即チ60ニテ割り得タル數ナ度ノ少數トシテ角數ノ後ニ附ス。二日 1). 三角教科書ヲ讀ミテ熟考セヨ。三日 1). 各邊ニ其長サテ使用シテ三角函數ノ數值ヲ求ムベキナリ。2). $\sin A$, $\cos A$ 等ノ三角函數ノ代リトシテ用ユルニ邊ノ比ヲ以テシ幾何學ノ「直角三角形ノ斜邊ノ上ノ正方形ハ他ノ邊ノ上ノ正方形ノ和ニ等シ」ナル定理ヲ利用スベシ。四日 2). 公式(7)ト(8)ヲ方程式ノ各邊完構合セバ $1+\tan^2 A + \cot^2 A + \cot^2 A \tan^2 A = \sec^2 A \cosec^2 A$ ヲ得レテナシ。レタル式ノ $\sec^2 A \cosec^2 A$ の代リニ入レ次ニ公式(3)ヲ用ウ。五日 1). 正弦以外ノ三角函數ナ $\sin A$ ニテ顯ハシテ後 $\sin A$ の代リニ $\frac{1}{2}$ チ入レ計算スベシ。2). 左邊ノ括弧ナ去リ公式(4)及ビ(5)ニヨリ $\tan A$ 及ビ $\cot A$ ナ去リ。 $\sin A \cos A$ ノ同分母ニナシテ公式(6)ヲ適用スル如ク括リ公式(1)及ビ(2)ノ系ヲ用ユレバ右邊ヲ導クヲ得。

六日 1). Cチ直角トセル直角三角形 ABC = 於テ $\tan A = \frac{BC}{AC} = \frac{6}{5} \therefore BC = 6$, AC = 5 トシテレテ直角傍ノ二邊ノ長サトシテ直角三角形ヲ識ケベシ。2). 恒同式ノ左邊ナ同分母ニシテ加ヘ算ナシテ分子子ナ約分スベシ。之レニ用ユベキ公式ハ(6)ト(6)ノ系ト(1)ノ系トナリ。

七日 1). 目的ハ△以テ RO チ求ムルヲ得 PO ハ AB 又ハ BC ノ半分ナルヲ以テ知ルヲ得ベク從ツテ直角三角形 ROP ヨリ RP チ求ムルヲ得。之レニ依ツテ $\angle RPO$ ノ函數ヲ求ムルヲ得ベシ。2). 左邊或ハ右邊ヨリ公式(6)ノ系ヲ應用シテ他邊ヲ導クベシ。八日 1). $\angle A + \angle B = 90^\circ$ トセバ $\sin A = \cos B$, $\tan A = \cot B$, $\sec A = \cosec B$ 。2). I. 餘角ノ三角函數ノ關係ニヨリ $4A + 5A = 90^\circ \therefore A = 10^\circ$ II. 同様ニシテ $A + 2A = 90^\circ \therefore A = 30^\circ$ III. 公式(1)ノ系ニヨリ元式ヨリ $4\sin^2 A = l$ チ導クヲ得 $\therefore \sin A = \pm \frac{1}{2}$ 正ノ銳角ノ正弦ハ正ナルヲ以テ $\sin A = \frac{1}{2}$ チ取レバ $\sin 30^\circ = \frac{1}{2}$ ナルヲ以テ $A = 30^\circ$ 九日 1). 公式(6)ノ系ニヨリ二次方程 $\sin^2 A - \sin A + \frac{1}{4} = 0$ $\therefore (\sin A - \frac{1}{2})^2 = 0$ ニシテ $\sin A = \frac{1}{2}$ 然ルニ $\sin 30^\circ = \frac{1}{2} \therefore A = 30^\circ$ 2). 公式(9), (4)及ビ(5), (1)ノ系チ順次ニ左邊ニ應用スベシ。十日 1). 元式ニ含マレタル各三角函數ニ其値ヲ入レテ試ミヨ。2). 括弧ヲ解キテ代數的ノ乘法ヲ行ヒ同類項ヲ簡約スレバ $2\tan A \cot A - 2\tan B \cot B$ ナ得レニシテ公式(3)ヲ應用スレバ結果ハ零ナ得。十一日 1). 公式(6)ノ系, (1)ノ系, (8), ナ用井テ分數ノ減法ヲ行ヒテ分母子別々ニ平方根ヲ求ムレバ $\cot A$ ナ得。2). $\cos 30^\circ = \frac{\sqrt{3}}{2}$, $\sin 30^\circ = \frac{1}{2}$ チ用ユベシ。十二日 1). 真數表ヲ用ユベシ。2). 公式(7)ヲ利用シテ與ヘラレタルニ式ヨリ θ チ除去スベシ此ノ爲ニ $\tan^2 \theta$ 及ビ $\sec^2 \theta$ チ含マヌ式ニテ求メ公式(7)ノ $\tan^2 \theta$ 及ビ $\sec^2 \theta$ ノ代リニ入ルレバ目的ヲ達スルヲ得其ノ爲ニ兩式ヲ加フレバ $2\tan \theta = a + b$, 第一式ヨリ第二式ヲ引ケツ $2\cos \theta = a - b \therefore \tan^2 \theta = \frac{(a+b)^2}{4}$, $\cos \theta = \frac{a-b}{2}$, $\sec \theta = \frac{2}{a-b}$, $\sec^2 \theta = \frac{4}{(a-b)^2} \therefore \frac{4}{(a-b)^2} - \frac{(a+b)^2}{4} = 1$ ナレタシ得ル丈簡單ニスルヲ可トス。十三日 1). I. $\sin \theta = 0.5333$, 真數表ニヨレバ $\sin 32^\circ 10' = 0.5324$ $\sin 32^\circ 20' = 0.5348$, 此ノ差 $10'$ ニシテ 0.0024 然ルニ $\sin 32^\circ 10' + \sin \theta$ ナ差 0.0009 ナリ \therefore 次ノ比例式ヲ得 $24': 10' = 9: x$ 之レヨリ x ナ求ムレバ $3'42''$ ナリ $\therefore \theta = 32^\circ 13'42''$. II. $\tan \theta = 1.4555$, 真數表ニヨリ $\tan 55^\circ 30' = 1.4550$, $\tan 55^\circ 40' = 1.4641$ 此ノ差 $= 0.0089$ 而シテ $\tan 55^\circ 30' \times \tan \theta$ ナ差 $= 0.0005$ 之レヨリ上ノ方法ニヨリ θ ナ求ムレバ $55^\circ 30' 37.5'$ 2). 公式(8), (7), (1)ノ系ト(2)ノ系, (6)ノ系チ順次ニ用ユレバ $\frac{1}{\sin^2 \theta - \sin^2 \theta}$ ナ得。十四日 1).

$\triangle ABC$ $\angle A = 45^\circ$, $B = 90^\circ$, $C = 45^\circ$ $\therefore a = d = 35$, $c = 35\sqrt{2}$ $\therefore \sqrt{a^2 + b^2} = \sqrt{2450}$ 2). 餘角ノ三角函數 $\triangle ABC$ $\angle A = 45^\circ$, $B = 90^\circ$, $C = 45^\circ$ $\therefore a = \frac{25\sqrt{3}}{2}$ 同様 $\cos A = \frac{b}{c} \therefore b = \frac{25}{2}$, $B = 90^\circ$, $-A = 30^\circ$ 2). 三角函數ノ代リニ其ノ數值ヲ入ルレバ $\frac{3}{2}$ ナ得。十六日 1). $A = 45^\circ$, $B = 45^\circ$ 從テ $A = B \therefore a = b = 16$, $c = \sqrt{a^2 + b^2} = \sqrt{512}$.

十五日 1). 定義ニヨリ $\sin A = \frac{a}{c}$ 2). A 點ヲ觀測者ノ位置 D ナ飛行機ノ位置 C ナ其直下トスレバ仰角 $= 45^\circ$ 即チ $\angle A = 45^\circ$ \therefore

$\angle D = 45^\circ \therefore DC = AC$ 即チ AC ナ飛行機ノ高サナ知ルヲ得ル而シテ本題ノ條件ヨリ $\triangle ABC$ ハ $\angle A = \angle B = 45^\circ$ ナル直角三角形ナリ。AC = BC 而シテ $a^2 + b^2 = c^2 \therefore 2a^2 = c^2, a = \frac{c}{\sqrt{2}}$ \therefore

十七日 1). 代数ニ於ケル場合ト同ナリ。

十八日 1). $\tan A = \frac{BC}{AC} \therefore BC = AC \tan 30^\circ = 100 \times \frac{1}{\sqrt{3}}$

十九日 1). 記憶シ居ラズバ教科書ヲ熟讀スベシ。2). 各括弧内ニ於テ公式(1)ノ系ト(2)ノ系ト(4)ト(5)ヲ用ヰ各括弧内ヲ別々ニ通

分シ其ノ結果ニ公式(6)ノ系ヲ用ヰ約分スレバ $2\sin A^2 - 1$ ナ得。十九日 1). 第二象限ニアル P 點ノ位置ハ $x = -5$, $y = 3$, 第四象限ニアル P 點ノ位置ハ $x = +5$, $y = -3$ 2). 一隅チ直角トセル直角三角形ニシテ其ノ直角邊ノ二邊ハ $3: 4: 5$ トノ割合ニシテ其ノ斜邊即チ六邊數ノ對角線ハ $\sqrt{3^2 + 4^2} = 5$ ナリ。此ノ三角形ノ一銳角ノ正弦ハ $\frac{4}{5} = 0.8$ 之レヨリ真數式ニヨリテ(1)ノ L ニ準シテ角ノ大サナ求ムレバ $53^\circ 7'47''$ 弱他ノ角 $= 90^\circ - 53^\circ 7'47'' = 36^\circ 52'13''$ 強。二十日 1). 或ル基線ヨリ時計ノ針ノ迴轉ト反對ノ方向ニ迴轉シタリト見徹シテ測リタル角チ正トシ時計ノ針ト同シ方向ニ迴轉シタルモノト見徹ストキハ之レ貢トス 2). 與式ノ兩邊ニ 30° 及ビ 60° ノ三角函數ノ數值ヲ入レテ算術的ノ計算ナセバ兩邊ノ結果 $\frac{1}{2}$ トナリ等シキヲ證明スルヲ得。二十一日 1). 第二象限ニ於ケル角ノ正弦ハ $\sin x'$ ノ線ノ上ニ立テ重線ト角ノ迴轉邊トノ比ナルヲ以テ正ニシテ第三象限ニ於ケル角ノ正切ハ $\tan x'$ ナレバ $\cot A = \frac{\sqrt{q^2 - p^2}}{p}$ 公式(3)ノ系ニヨリ $\tan A = \frac{p}{\sqrt{q^2 - p^2}}$ 公式(7)ニヨリ $\sec A = \pm \sqrt{\frac{q^2 - p^2 + p}{q^2 - p^2}}$, 從ツテ公式(2)ノ系ニヨリ $\cos A = \pm \sqrt{\frac{q^2 - p^2}{q^2 - p^2 + p}}$ 公式(8)ニヨリ $\cosec A = \pm \sqrt{\frac{p + \sqrt{q^2 - p^2}}{q^2 - p^2}}$, 公式(1)ノ系ニヨリ $\sin A = \pm \sqrt{\frac{p}{q^2 - p^2 + p}}$ 但シ正銳角ノ三角函數ハ何レモ正ナルヲ以テ正ノ場合ノミテ取ル。二十二日 1). $260^\circ = 180^\circ + 80^\circ$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第二分面, $405^\circ = 360^\circ + 45^\circ$ \therefore 第一分面, $-932 = 2 \times (-360^\circ)$ $+ 215^\circ = (-180^\circ) + (-35^\circ)$ \therefore 第三分面, $-$

304
5
242

トナリ、 $\cos\theta=1$ ナルヲ以テ $\theta=0^\circ$ ニシテ $\theta=0^\circ$ ナレバ $\sin\theta=0$ 即チ之レ等ノ級ハ級數ヲ成立セズ。次ニ $0 < \cos\theta < 1$ ナレバ、代數ニヨリ $S_\infty = \frac{\sin\theta}{1-\cos\theta}$ 、次ニ $\cos\theta=0$ ナレバ此ノ級數ノ第二項以下ハ零トナリ 初項 $\sin\theta/\cos\theta$ チ残ス然ルニ $\cos\theta=0$ ナルヲ以テ $\theta=90^\circ$ 、從フテ $\sin\theta=1$ 、故ニ此ノ級數ノ總和=a。即チ $\theta=0^\circ$ ナレバ級數不成立、 $0 < \cos < 1$ ナレバ $S_\infty = \frac{\sin\theta}{1-\cos\theta}$ 、 $\theta=90^\circ$ ナレバ $S_\infty=a$ 。2) 凡テノ角ノ三角函數ヲ公式ニヨリテ Aノ三角函數トテ $\cos\theta=1$ ナ置ケバ各分數ハ同レモ1又ハ-1トナリ結果3ヲ得。

同大正二年七月二日發行

(定價金貳拾錢)

編發行兼人

印刷人

森谷精一
字京都府愛宕郡田中村
大溝十七番地

三上庄治郎
似玉堂活版部
三條市下京區柳馬場通
京都市南入四、五、六番場通

印刷所

特116

900

終